

平成30年度 地域自治協議会モデル事業一括交付金実績【比延地区自治協議会】

実施事業概要

(単位:円)

事業名	事業内容	経費の詳細	事業費 [一括交付金充当額]
地域自治協議会運営費	比延地区自治協議会の運営に係る事務局職員を置き、構成団体である地域内の各種団体や個人で構成する運営委員会を定期的に開催しています。 	事務局人件費 1,150,000円 需要費 227,742円 役務費 7,152円	1,384,894 [1,384,894]
防犯カメラ設置事業	地域内に子どもや高齢者等の見守りや、防犯・防災につなげる目的で防犯カメラを設置しました。今後も設置を進め、地域内の各種団体や西脇警察署などと情報を共有し、地域住民の安全・安心の暮らしにつなげます。平成30年度は比延町、塚口町に設置しました。 	需要費 112,000円 役務費 2,272円 備品購入費 363,800円	478,072 [422,072]
比延地区の子どもを守る会ポスター製作事業	従前から比延地区の子どもたちの見守り活動を続けている『比延地区の子どもたちを考える会』の活動と連携し、子どもたちから募集した標語のポスターを作成し、昨年度に引き続き地域内外の様々なところに掲示をしました。 	需要費 46,980円	46,980 [46,980]
比延地区のよいところカレンダー作成事業	「比延地区のよいところ写真コンテスト」を実施し、地域外も含めた多くの方に比延地区の魅力を知ってもらい、投票で選ばれた作品については『比也野里ふるさとカレンダー』に掲載しました。今後も比延地区の魅力発信を進めていきます。 	報償費 12,000円 需要費 36,404円	48,404 [39,244]
空き家の有効活用に関する行政との連携事業	地区内の空き家について地元住民と行政との協働のもとに、空き家の利活用を目指すワークショップを開催し、また必要な改修を行い、地域住民と移住希望者、また空き家活用に意欲を持つ人材等との交流の機会を創っています。空き家の有効活用は、放放っておけば地域の大きな課題となる要素を、逆に資源として活用していくための取組で、今後も検討を進めます。 	需要費 56,810円	56,810 [56,810]
ええまち比也野里活動事業	ええまち比也野里を中心に、これまで実施してきた多様な交流事業等を継続・発展させながら、人材の発掘、育成などもあわせて進め、行政や市内事業者との連携を積極的に図りながら、特産加工品の開発・販売などを通じて地域の活性化や組織の発展、自己財源の確保につながる事業を進めています。 ○ええまち比也野里の実施事業 ・花植えなどの地域美化活動 ・毎月の広報紙「比也野里だより」の発行 ・歴史講談、よってけライブ等の定期実施 ・キクイモ育成などの観光事業部事業 ・比也野まつり等交流事業の実施 ・笑顔いっぱい比也野号(移動販売車)の運行 ・万能だれ比也野ほか特産加工品の開発 他 	報償費 287,684円 消耗品費 197,468円 役務費 143,270円 原材料費 113,018円	741,440 [700,000]
合 計			2,756,600 [2,650,000]

平成30年度 地域自治協議会モデル事業一括交付金実績【黒田庄まちづくり協議会】

実施事業概要

(単位:円)

事業名	事業内容	経費の詳細	事業費 〔一括交付金充当額〕
地域自治協議会 運営費	黒田庄まちづくり協議会の運営や多様な事業の実施のために事務局職員を置き、地域自治協議会として地域の窓口機能を担っています。黒っこプラザを黒田庄地区の様々な活動の拠点とし、今後も円滑な運営を目指します。 	事務局人件費 1,342,550円 需要費 193,690円 役務費 140,278円	1,676,518 〔1,482,031〕
福祉送迎車事業	身体等の状況により、西脇市コミュニティバス「つくしバス」の利用ができない高齢者や障害者の生活支援や積極的な社会参加を容易にするために福祉送迎車の運行を実施しています。平成30年度は延べ231人の利用がありました。 	報償費 315,000円 需用費 48,000円 役務費 86,240円	449,240 〔449,240〕
黒田庄つうしん 発行事業	地域の情報を多くの方に向けて発信するため毎月15日に『黒田庄つうしん』を発行しています。黒田庄地区内には全戸配布し、市内の公共施設等にも多く配布をしています。黒田庄まちづくり協議会の活動報告なども同紙で行っています。 	需要費 136,728円 役務費 864円	137,592 〔136,728〕
黒っこ広場運営 事業	旧黒田庄町役場の庁舎跡地の「黒っこふれあい広場」を、住民が気軽に集まり活用できるよう維持管理を行っています。また、12月24日には恒例となっている「軽トラ市」を開催し、多世代で楽しみ、黒田庄地区の賑わいづくりにつなげるイベントを実施しました。 	報償費 40,200円 需要費 16,359円 役務費 29,704円 委託料 183,924円 原材料費 10,131円	280,318 〔252,254〕
あつまっ亭感謝 祭	JR黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化のため、10月21日に「あつまっ亭感謝祭」を実施しました。普段は閑静な黒田庄駅舎に約200名の来場者があり賑わいました。今後も賑わい創出の方策を検討しながら黒田庄地区の活性化につなげます。 	報償費 10,000円 需用費 8,316円 役務費 864円 原材料費 36,001円	55,181 〔50,109〕
黒っこJR恐竜 ウォーク事業	8月18日にあつまっ亭周辺の活性化やJRの利用促進も兼ねて、JR加古川線を利用しての参加者を募りハイキングを予定していましたが、天候等の理由により中止となりました。今後も多世代で参加できる事業を企画しながらJRの利用促進などを進めていきます。 	報償費 5,000円	5,000 〔5,000〕
防災体制づくり 事業	地域住民の防災意識の高揚及び災害対応能力の向上を図り、自治会単位の連携を強化し、災害による被害の防止・軽減につなげるため、講師にひょうご防災特別推進員でひょうご防災リーダーの伊藤道司さんをお迎えし、10月22日に防災講演会を開催しました。 	報償費 8,100円	8,100 〔8,100〕
白山・妙見山登 山マップ作成事 業	第2期黒田庄地区まちづくり計画にも掲げている「観光レクリエーションゾーンづくり」の一環として、白山、妙見山、三角点などのトレッキングマップを作成をしました。豊かな自然環境や豊富な資源を活用し、黒田庄地区の魅力発信していきます。 	需用費 378,324円 役務費 432円	378,756 〔378,324〕
秋谷公園遊歩道 景観づくり事業	「観光レクリエーションゾーンづくり」の一環として設置した秋谷公園遊歩道の木橋の防腐処理作業や植樹作業などを行いました。今後、門柳川周辺のレクリエーション施設等と連携し、黒田庄地区の活性化につなげます。 	報償費 40,000円 役務費 864円 原材料費 101,214円	142,078 〔121,214〕
構成団体活動費 事業	黒田庄まちづくり協議会の構成団体が実施するまちづくり活動について、より効果を大きく、また持続可能な取組にするために、活動費を活用した連携事業を多く実施しました。活動は特産加工品の開発、子育て支援、高齢者福祉、環境保全など多様な分野で実施しています。 	報償費 96,603円 需用費 250,743円 役務費 107,426円 委託料 100,000円 原材料費 45,321円 備品購入費 66,907円	667,000 〔667,000〕
合 計			3,799,783 〔3,550,000〕

地域自治協議会モデル事業の検証について

平成 29 年度に比延地区、黒田庄地区で市内で初めて設立された西脇市自治基本条例に基づく地域自治協議会が実施しているモデル事業においては、一括交付金を活用し、地域の特性を生かした地域づくり事業が活発に展開されている。当審議会においてモデル事業における一括交付金の活用方法や事業の成果についての検証を重ねた結果、一括交付金の交付目的に基づいた適正な執行と、次にあげるような地域コミュニティの活性化及び地域課題の解決につながる成果、効果が得られていることが認められるため、一括交付金を活用した地域自治協議会事業のさらなる推進を要望する。

○比延地区

・地区内防犯カメラの設置

平成 29 年度の設置(こみせん比也野、中畑町の 2 カ所)に引き続き、平成 30 年度においても比延町及び塚口町に設置。(全 2 基のうち 1 基は県及び市の補助制度を活用)地域の安全・安心な暮らしを守るために、町単位では難しかった事業を地区として実施している。

・特産加工場の活用による事業者や行政との連携事業の実施

「万能だれ比也野」(キクイモ、にんにく、金ゴマ等地場産特産品を使用)の増産に加え、市のスイーツファクトリーで活躍されている芳田地区のイチゴ農家等と連携し、西脇産イチゴ入りの万能だれ比也野の開発・商品化や、イチゴジャムの加工などを新たに実施。また、学校給食センターで使用するトマトソースなどの原料の加工を比延地区で受けて行うことも行政との連携のうえ検討を進めている。

・移動販売車の運行便数の増便及び内容の充実

移動販売車「笑顔いっぱい比也野号」の運行に協力いただける人材(運転手等)7人の新規加入により便数をこれまでの週に1回から週に2回に増便し、集落によっては2週間に1度の訪問であったのが毎週訪問できるようにするなど、高齢者や子どもの見守り活動を兼ねた買い物支援のさらなる充実と発展を目指した活動を進めている。

・空き家の有効活用にかかる行政との連携事業の実施

住吉町内の空き家について、住吉町区長を含めた地元住民の皆さんと行政との協働のもとに、空き家の利活用を目指すワークショップを開催し、必要な改修を自分たちで行い、地域住民と移住希望者、また空き家活用に意欲を持つ人材等との交流の機会を創出している。空き家の有効活用は、放っておけば地域の大きな課題となる要素を、逆に資源として活用していくためのさきがけとなる取組で、地区まちづくり計画でも重要な取組として挙げている。

・比延地区の子どもたちを考える会の人権ポスター作成

地区内の小学生から人権等のポスターの案を募集し、ポスターを作成。地区内及び地区外に配布するなど啓発活動を実施し、子どもたちの健全育成やこころ豊かな地区の実現を目指した事業を進めている。

・比也野里ふるさとカレンダーの作成

比延地区内の風景写真を「比延地区のよいところ写真コンクール」として広く募集し、投票で選ばれた写真をカレンダーにし、地区内外への配布、販売を実施。地区の魅力をアピールしながら、関係人口の増加につなげている。

これらの取組のほか、「ええまち比也野里」を地域づくり事業のメインの実施機関として、これまで実施してきた多様な交流事業等を継続・発展させながら、人材の発掘、育成もあわせて実施し、行政や市内事業者との連携を積極的に進めるとともに、自組織の発展・自己財源の確保につなげる事業を進めている。

○黒田庄地区

・「黒っ娘おばんざい」による特産品の開発・PR事業

平成 30 年度に黒田庄まちづくり協議会の呼びかけに応じて集まった 7 名の女性(現在は 8 名)により特産品開発グループ「黒っ娘おばんざい」を結成。これまで「黒っこマザーズ」(平成 29 年度末に解散)が担っていた黒田庄地区の特産品を活用した地区の魅力発信を継承するとともに、地域住民への安全・安心な食の提供を通じて地域の和をつなぐ取組を実施。伝統的な巻きずしの製造・販売やお弁当の注文販売などの活動を幅広く行っている。現在では北はりま旬菜館や市、県等と連携し、様々な場面で販売やアピールができるよう活発に活動を進めている。

・秋谷公園周辺の「観光レクリエーションゾーン」の活性化計画

平成 29 年度に黒田庄まちづくり協議会が安全な遊歩道の整備を行った「水と緑の郷秋谷」をはじめ、日時計の丘公園やフォルクスガーデンなど(誘致予定の酒蔵も含む)周辺地域を含めた観光レクリエーションゾーンの今後の活用方法について、地区の大きなプロジェクトとしてとらえ、行政とも十分に連携を図りながら、活性化に向けての協議を進めている。

・黒田庄子ども見守り活動の実施

黒田庄まちづくり協議会のくらし安心部会を中心に、地域の子ども達が健やかに安全で安心して生活できるよう「黒田庄子ども見守り活動」の体制を整え、地域全体で子ども達を見守り育てていく取組を進めている。これまで集落や老人会などの団体ごとに実施していた見守り活動を黒田庄まちづくり協議会が中心となって組織化し、区長会や老人会、学校や住民個人等が連携を深め、より効果的な活動となるよう発展させている。

・地域カフェの実施に合わせた高齢者福祉事業の実施

現在黒田庄地区内の津万井、喜多、小苗集落で行っているコミュニティカフェでは、地域住民の交流機会の創出や互いの見守り作用など、本来のコミュニティカフェの運営に係る効果に合わせ、おりひめ体操や健康教室など、市の進める福祉施策の要素を取り入れた活動を実施。今後も各集落で事業が進んでいくよう計画しており、活動の幅を広げている。

・黒田庄まちづくり協議会活動費を活用した各種団体のまちづくり事業

これまで個々に活動をしていた多様な方面で活躍する各種活動団体(子育て支援グループやスポーツ振興団体など)と連携し、活動費を生かして様々な地域づくり事業を実施している。

その他、高齢者や女性などの健康づくりの推進などを目的に自主事業として取り組んでいる「インドヨガ教室」や福祉送迎車の運行事業、JR古加川線の利用促進や交流機会の創出を兼ねた官兵衛まつりハイキングやあつまっ亭感謝祭の実施など、多方面の切り口から、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化につながる事業を進めている。

比延地区、黒田庄地区における地域自治協議会モデル事業の検証についての総括

①財源の確保等

- ◇ 西脇市まちづくり実践補助事業に比べ、地区の裁量で比較的自由に活用できる地域自治一括交付金制度により、地域自治協議会の一定の財源の確保が可能となった。
- ◇ 財源の確保ができることにより、地区で実施する事業の幅が広がり、事業内容に応じた市、県、国等の補助制度（西脇市まちづくり実践補助事業を除く。）を活用できたことから、より充実した事業が進められた。

②多様な取組の実現

- ◇ 一括交付金等の財源のもと、地域づくりの方針決定や事業の実施を地域が自ら進めていくことにより、次に示すような多様な取組をスピーディーに展開することが可能となった。
 - ・地域コミュニティの活性化に向けた取組
 - ・地域課題の解決につながる取組
 - ・コミュニティビジネスへと発展するような新たな取組

③事業実施に係る効果

- ◇ 地域自治協議会における各事業の目的の明確化（事業の優先順位の決定）
- ◇ 地域自治協議会を中心とした各種団体等の横断的な連携を生かした地域資源・資金等の地区内循環による事業効率化の促進
- ◇ 「参画と協働のまちづくり」の推進（西脇市自治基本条例制定の成果）
 - ・まちづくりに関する取組の推進における市民の力の充実
 - ・関心はあるもののきっかけがなかった人材の参画のきっかけづくり（参画の機会の創出）
 - ・地域住民のまちづくりに対する「自治意識」の醸成
 - ・地域自治協議会と行政との連携による多様な取組の推進に伴う各種行政施策への「参画と協働」意識の広がり

令和元年度事業計画 (比延地区自治協議会)

(運営)

1、運営

構成団体である地域内の各種団体や個人で構成する運営委員会を定期的を開催する。地域自治協議会として地域の窓口機能を担うため体制を整え、様々な活動の拠点となるよう、円滑な運営を目指す。

2、まちづくり活動

構成団体である「ええまち比也野里」が実施するまちづくり活動を推進する

3、その他活動

構成団体が実施するまちづくり活動について、また地域の課題解決のために取り組む活動に対して、より効果を大きく持続可能な取組みにするために、連携事業等を実施する。子育て支援、高齢者福祉、環境保全、防災等、多様な分野で活動費を活用した取組を行う。

(青少年補導委員のユニフォーム)の作成など

(事業)

4、防犯カメラの設置

5、比延地区の子どもを守る会のポスター作成

6、地区カレンダーの作成

市内全域より、「比延地区のいいところ」風景写真を募集し、へそでちゃギャラリー展(10月)に展示をする。その作品の中からH31年度の年間カレンダーを作成し、比延地区に全戸配布をする。

7、岡の山まつり、中畑ほたるまつりについて、地区全体の祭りとして関わっていくしくみづくり。

8、空き家対策事業

本格的に自治協議会の大きな事業と役割になるように、ルールづくりや、取り組む体制を整える。

令和元年度活動計画（ええまち比也野里）

[企画部]

- 第40回比也野よってけライブ 6月15日（土）「オカリナと女性デュオ コンサート」
第41回比也野よってけライブ 9月7日（土）「小西達也コンサート」
第42回比也野よってけライブ 3月未定（土）「早春お笑い寄席」

[広報部]

目標・ええまち比也野里事業、こみせん比也野の情報を比延地区内外に伝え、地域の活性化につなげる。

- ・地域住民同士の交流と親睦に貢献する。

○具体的取り組み

- ・毎月広報紙発行
- ・ホームページ、Facebook等を使った情報発信（比延地区内外への発信）
- ・比延地区内、へそでちゃ、こみせん比也野等の宣伝
- ・12月14日（土）第18回「みんなで歌おう！クリスマス」の開催

[喫茶部]

目標 喫茶サロン「へそ・で・ちゃ」ではゆったり気持ちよく過ごせる環境を提供します。

1. 喫茶部門：火曜日～土曜日 10：00～15：30の営業
飲物（コーヒー、紅茶、生姜湯、ゆず茶、ソフトクリーム）の販売
2. 調理部門：地元の野菜や安心安全の食材をできる限り使用し、おふくろの味、やさしい味を心かけています。
 - ①火曜日～金曜日 惣菜、弁当、定食、菓子の調理
 - ②毎週火・金曜日（月8回）移動販売車での惣菜を調理
 - ③曜日に関わらず地区内の注文を優先して弁当の受注、調理
 - ④9月、3月 彼岸のおはぎの調理、11月3日 比也野まつり 惣菜調理
1月 とんど火祭り 惣菜調理、2月3日 節分恵方巻寿司調理
よってけライブ等のイベント開催時の惣菜調理
3. 部会、研修
月1回 喫茶室、調理室の大掃除と定例部会の開催 理事会の報告メニュー等の検討、必要に応じて臨時部会開催、食品衛生講習会を開催
4. 「トライやるウィーク」西脇東中学校生徒や西脇工業高校家庭部の受け入れに協力する。

[物品販売部]

1. 目標
生活必需品が揃うよう商品を充実させる。
移動販売車がよりスムーズに実施できるような方法を考える。
2. 具体的取り組み
 - 1) 店舗
 - ・新鮮な野菜等を販売できるよう生産者に呼びかけ、地場産野菜等を確保する。
 - ・協力業者や団体と連携できる体制をつくり、安定した商品管理をする。
 - ・各担当者を決め、商品の管理、補充等がスムーズにできるようにする。

- ・買い物がしやすく、清潔な店舗経営をする。
- ・レジのボランティアの確保に努める。

2) 比也野号

- ・毎週火・金曜日（月8～9回）、2名体制で運行する。
- ・商品の積み下ろし作業、運行表の記録、売り上げの記録を行う。
- ・お客様とコミュニケーションの中で、必要な物を把握し見守りも行う。
- ・注文の品を用意し、次回配達できるように手配する。
- ・移動販売車の管理（車検、タイヤ交換、オイル交換、洗車、清掃等）

[美化交流部]

- ・6月 へそ駅ホーム沿い花畑・美術館前プランター・嫁ヶ石池東側プランター
 こみせん前&駐車場プランターの花植え他
- ・7月～9月 花壇の給水 週3回
- ・6月～10月 花壇&駐車場の除草剤散布、ゴミ拾い等
- ・11月 へそ駅花壇のローズマリーの剪定と整備、へそ駅ホーム沿い花畑・美術
 館前プランター・こみせん前&駐車場プランターの花植え他

[特産品開発部]

- ・ええまち比也野里の行事（よってけライブ、比也野まつり等）に参加

[加工部]

- ・加工品の製造・管理・新製品の取組みと地産の原材料の確保
- ・地域の方に自家用みそ作りの推進
- ・兵庫県立大学の学生とのコミュニティビジネスの取組み

[観光事業部]

- ・水車のある公園清掃・きくいも畑整備、
- ・8月24日 へその西脇織物まつり（焼きそば等）
前年度は、鹿による新芽の食害によりきくいもが伸びず、大幅な収穫減になりましたので、本年度は鹿対策のための侵入防止ネットを張る。

[歴史文化部]

- ・5～6月 部会
- ・7～8月 旭堂南海氏取材
- ・10～11月 第16弾「比也野里歴史物語」

[自然部]

- ・10月未定 星まつり協賛
- ・1月未定 とんど火祭り

[事務局]

- ・ええまち比也野里まちづくり事業に関する運営
- ・多世代交流事業（小中学校、西脇工業高校家庭部、県立兵庫大学連携など）

令和元年度黒田庄まちづくり協議会事業計画

平成 28 年度に黒田庄地区まちづくり計画を改定し、まちづくりのための目標を“千年の風土を未来につなげる NEW 黒田庄づくり”とした。

その目標づくりのために、西脇市条例に基づく地域自治協議会となる「黒田庄まちづくり協議会」を設置した。

この協議会は、公共的団体として、参画する団体・人々が話し合い、自主的・主体的に計画を実践すると共に、様々な課題解決を目指し、各事業部会や協議会全体で、次のような事業に取り組むものとする。

【重点項目】

1 トヨタ・モビリティ基金の活用

(1) 福祉送迎車運行の充実

NPO法人による福祉送迎車運行を検討する。

(2) 子ども見守り活動の推進

福祉送迎車を青色パトロールカーと兼ねて運行し、見守り活動のシンボルと位置付ける。

(3) 移動販売

車両を用い地域食材を活用した弁当や惣菜を移動販売する。

2 災害時における自主防災会活動の推進

(1) 黒田庄防災マニュアル作成及び防災計画策定

(2) 黒田庄防災マニュアルに基づく防災体制のあり方連絡会

3 兵庫県立大学との連携

(1) 兵庫県立大学の学生と連携し、黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化や観光レクリエーションゾーンを活用したイベント等を実施する。

地域交流部会

1 西脇市・黒田庄夏まつり

にしわき市・黒田庄夏まつりは、西脇市民の交流の場と西脇市の活性化を目的として開催する。

その際に、事業の実質的な実施主体という性質を持った第 42 回にしわき市・黒田庄夏まつり実行委員会を設置し、実行委員会による夏まつりの企画・立案を行い、協議会委員の協力を得て事業展開を図る。

2 黒っこふれあい広場活用

黒っこふれあい広場を住民が気軽に集って日常的に活用できるよう、芝生の整備やプランターの植栽管理などを行う。

イベント関係では、旧黒田庄町中心部の活性化を図るため、喜多市と同時開催の黒田庄軽トラ市を開催する。

その際に、事業の実質的な実施主体という性質を持った第9回黒田庄軽トラ市実行委員会を設置し、実行委員会による企画・立案を行い、協議会委員の協力を得て事業展開を図る。

3 交流カフェづくり

交流カフェについては、平成29年度に黒田庄まちづくり協議会の活動費の助成を受けて、喜多自治会の「住民カフェ“喜多っ亭”」、津万井自治会の「津万井カフェ」、小苗自治会の「小苗夢カフェ」がスタートして3年目に入る。

本年度は、より多くの自治会で交流カフェが実施できるよう支援する。

4 生涯学習・スポーツの振興、人権学習の推進

黒田庄まちづくり協議会の構成団体である黒田庄スポーツ振興会主催の第8回黒田庄駅伝競走大会や人権のまちづくり協議会主催の人権講演会など、黒田庄まちづくり協議会地域交流部会としても協力していく。

くらし安心部会

1 福祉送迎車の活用

身体状況により、「コミュニティバス」の利用ができない高齢者及び障害者の生活支援と積極的な社会参加を容易にすることが不可欠であると考え。そして、自分たちの暮らす地域を少しでも良くしていくため、福祉送迎車の運行を継続実施する。その際に、トヨタ・モビリティ基金を活用して事業を展開する。

2 防災体制づくり

黒田庄地区の安全・安心なまちづくりの一環として、地域住民の防災意識の高揚及び災害対応能力の向上を図るとともに、自治単位の連携を強化し、災害による被害の防止・軽減及び、各集落における自主防災会の組織強化の機会とするため、黒田庄地区防災マニュアル作成や防災計画策定などを行う。

3 高齢者等の健康づくり

インドヨガ教室を開催しており、心身の緊張をほぐし、心の安定と安らぎが得ら

れ、健康と美容に効果があるとして女性に人気で、多くの方が受講されているため、今年度も継続してインドヨガ教室を開催する。

4 防犯体制づくり（子ども見守り活動の推進）

近年、子どもが犠牲になる事故・事件が多発しており、子どもの見守り活動が日常的に必要なため、黒田庄子ども見守り活動隊が発足した。

今後、子ども見守り活動実施中ののぼり旗やマグネットを作成し、見守り活動を推進していく。また、トヨタ・モビリティ基金の活用による福祉送迎車を青色パトロールカーと兼ねて運行するなど、見守り活動を強化していく。

観光・特産部会

1 特産品の開発・PR

特産品の開発に取り組むグループ「黒っ娘おぼんざい」が昨年度に誕生した。「黒っ娘おぼんざい」は、黒田庄まちづくり協議会の構成団体等であり、黒田庄まちづくり協議会としても特産品の開発に向けて支援していく。また、トヨタ・モビリティ基金を活用した移動販売にも支援する。

2 観光レクリエーションゾーンづくり

昨年度に秋谷公園遊歩道の植樹など景観づくりを行った。今年度は遊歩道を活用したイベントなどの事業を展開していく。

3 黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化

黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化を図るための事業やJR加古川線利用促進事業などを開催する。

その際に、事業の実質的な実施主体という性質を持った、あつまっ亭活性化実行委員会を設置し、兵庫県立大学の学生と連携して黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化に取り組む。

3 黒田の里 官兵衛まつり

観光イベントの一つとして、黒田庄まちづくり協議会構成団体である黒田官兵衛生誕地の会を中心に、第7回黒田の里官兵衛まつりを開催する。

広報部会

1 「黒田庄つうしん」の発行

地域住民に情報の発信をするため、毎月15日に「黒田庄つうしん」を発行し、

全戸配布及び市内公共施設等に配布する。

発行にあたっては、原稿の提出依頼、取材、作成、校正及び印刷を行う。

2 黒田庄の情報発信

黒田庄のイベントや観光などの情報を広く発信するため、フェイスブックの充実を行う。

その他事業

《助成事業》

1 黒田庄まちづくり協議会構成団体等活動費の運用

黒田庄まちづくり協議会に参画する団体等が事業を実施する場合に、その経費の一部を助成することにより、課題解決に取り組みやすい環境をつくる。

《連携事業》

2 黒田庄まちづくり協議会構成団体等との連携

協議会構成団体であるそれぞれの団体等の活動に対して必要なときは、黒田庄まちづくり協議会としても連携して取り組む。

《管理事業》

1 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館管理運営事業

西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館の管理に関する基本協定書及び年度協定書に基づき、施設の管理業務を行う。

2 西脇市黒田庄交流拠点施設あつまっ亭管理運営事業

西脇市黒田庄交流拠点施設あつまっ亭の管理に関する基本協定書及び年度協定書に基づき、施設の管理業務を行う。

少子高齢化、人口減少の波が津万地区にも押し寄せています。いつまでも住み続けたい津万地区であるために、地区のことを一番よく知っている私たち自らが地区の課題を解決しなければなりません。

そのような社会背景を踏まえ、平成29年度に策定した第2期まちづくり計画・行動計画を実現するために、生き生きTUMA協議会を発展的に移行し、「津万地区自治協議会」を設立します。

生き生きTUMA協議会の事業を継承しつつ、運営組織の強化を図ると共に、まちづくり計画の実現のための第1歩を踏み出す1年とします。

【にぎわい交流部会】

◎賑わいづくり ◎地域活性化 ◎観光・資源活用

- 1 天神池に鯉のぼりを揚げよう (4月27日～5月10日)
- 2 都麻乃郷あじさいまつり 6月16日 (日)
- 3 第3回「秋こいフェスティバル」
- 4 西脇子午線マラソン「へその市」出店
- 5 古民家オープニングイベント

【くらし安心部会】

◎防災・防犯・安全 ◎環境

- 1 防災(避難)訓練・防災講演会
- 2 通学路安全点検
- 3 八日山登山道整備
- 4 八日山つつじ花見登山
- 5 クリーン作戦(織物まつり花火の後片づけ)
- 6 あじさいの花いっぱい運動

【まなび文化部会】

◎人権・文化 ◎生涯学習

- 1 まちづくり講演会
- 2 まちづくり視察研修
- 3 特産メニュー開発
- 4 講習会・研究会
- 5 都麻の里さわやか交流祭及び上野・下戸田いきいき人権交流祭への参画

【ふくし健康部会】

◎高齢者・障害者福祉 ◎健康づくり ◎スポーツ

- 1 津万の里ウォーキング
- 2 生きがい講座・健康教室
- 3 高齢者見守り活動
- 4 住民ニーズアンケート

【あつまれ部会】

◎子育て支援 ◎若い世代の地域参加・活動

- 1 子ども交流イベント
- 2 子どもの居場所づくり

【広報編集委員会】

◎情報発信 ◎情報提供 ◎情報共有

- 1 広報誌の発行（年3回）
- 2 活動の情報発信

【構成団体助成】

協議会の構成団体の活動に対し、必要なときは資金助成や人的助成などを行い、連携して取り組みます。

【古民家改修プロジェクト】

物件：西脇市嶋317番地（旧福谷動物病院）
構造・規模：木造2階建（主屋・蔵・離れ）335㎡

第2期まちづくり計画・行動計画に掲げた「地域のかくれた資源を有効活用する」という項目を実現するため、古民家の改修事業を実施します。地区のまちづくりの「にぎわい創出拠点」として整備し、活動や交流をさらに活発にし、空き家の解消をはじめとする地域課題の解決やコミュニティの活性化につなげます。

また、遊休資源である古民家を活用することにより、古いものを手入れして使い続ける「モノの大切さ」を次世代に伝えます。

多世代が交流を深めながら活動をともに行い、人がつながり地域が元気になるというコンセプトのもと、毎日稼働するまちづくり活動を目指します。